

カモシカ通信



新しい年がスタートしました。皆様にとりまして本年が幸多き年でありますよう、ご祈念申し上げます。
本格的な冬を迎え、寒さが厳しい日が続きますが、体調など崩されませんようご自愛ください。

さて、今回のカモシカ通信は、昨年より稼働しています令和3年度 天竜川水系小沢川砂防堰堤付替道路工事に
関する**工事の進捗状況等を報告**させていただきます。

令和3年度 天竜川水系小沢川砂防堰堤付替道路工事

お世話になります。株式会社ヤマウラの竹折と申します。
この事業は、飯田市上村程野地区を流れる『小沢川』において、**管理用道路 L=700m、砂防堰堤 堤長L=100m**を建設するものです。また、将来的には再生可能エネルギー事業として、管理用道路内に導水管路を埋設し、小水力発電所の建設も計画されています。

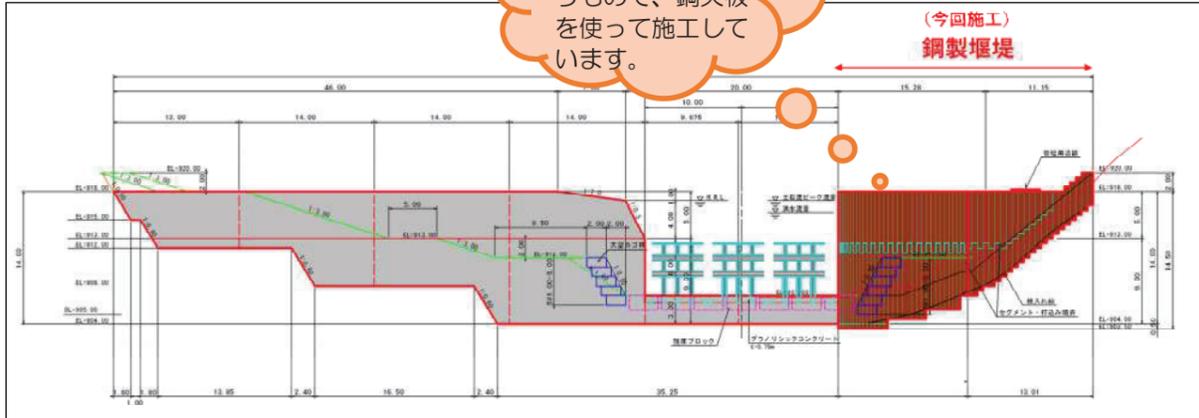
本工事は、その1期目の工事であり、**管理用道路の一部（主にグランドアンカー工）と砂防堰堤の一部（鋼製堰堤工）**の工事を進めています。

地域の皆様にはご不便をおかけしますが、安全に工事を進めて参りますので、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。



堰堤の左岸側は『鋼製堰堤』というもので、鋼矢板を使って施工しています。

『逆巻き工法』という方法で、上段から1段ずつ安定させながら施工しています。



グランドアンカーは、切土面に働く土塊のすべり力を、アンカーの引張力で抑止させるものです。安定した地盤まで地中深く削孔し、PC鋼線を挿入し、グラウトを充填して定着させています。

打込鋼矢板（幅50cm、長さ9.0m）を円形（直径15.28m）に打込みました(とても苦労しました)。その後、組立鋼矢板と中詰盛土を行いながら堤体を構築しました。

遠山川砂防出張所の一節

令和4年10月24日「飯田市立上村小学校」の児童のみなさんにお越しいただき、小沢川砂防堰堤付替道路工事の**現場見学会を開催**しました。

当日は、施工中の工事現場の見学や土石流模型装置を使った実験、重機等への搭乗など、体験を通じて**土砂災害の事や砂防事業の取組み**について学んでもらう**良い機会**となりました。

「上村小学校の児童を対象に砂防現場見学会」を開催！



土石流模型実験



アンカー工 現場見学



鋼製堰堤工 現場見学



重機操縦体験



高所作業乗車体験